

資 料 (2/2)

グローバル人材育成のための 英語教授法ワークショップ

【 午 後 】

2015年2月15日

大阪教育大学

グローバル人材育成のための英語教授法ワークショップ資料(2/2)

【 午 後 】

— 目 次 —

TEFLプログラムの概要紹介	62
大阪教育大学教授 吉 田 晴 世	
(6) Preサービス と Inサービスの意義と実践	66
奈良教育大学教授 佐 藤 臨太郎	
関西大学第一中・高等学校 永 松 里 和	
大阪教育大学大学院生 山 形 悟 史	
(7) 中学生のためのフォニックス指導	83
大阪教育大学非常勤講師 鄭 京 淑	
(8) 教科書で4技能を伸ばす授業	89
ー生徒の思考を促し, アウトプットを引き出す授業設計ー	
大阪府立高津高等学校 松 下 信 之	
(9) 中学校における授業づくりのポイント	95
賢明女子学院中・高等学校 稲 岡 章 代	
(10) 高等学校における授業づくりのポイント	103
神戸大学附属中等教育学校 竹 下 厚 志	
(11) 中・高連携の意義と実践	128
大阪教育大学教授 加賀田 哲 也	
同附属高等学校天王寺校舎 飯 尾 力	
同附属天王寺中学校 篠 崎 文 哉	



TEFLプログラムの概要

英語教授法海外研修の必要性

- ・ 小学校英語の教科化
- ・ 英語教員に求められる語学力： TOEFL iBT 79以上
- ・ 高等学校卒業段階での英語力： 英検2級 → 準1級
- ・ 国際バカロレア認定校拡大施策の進行

教員全体のレベルアップによる質保証とともに
全校種における英語教育の高度化が不可欠

TEFLプログラムの概要

- TEFL=Teaching English as a Foreign Language は、カナダ・ヴィクトリア大学が提供する英語教育指導者資格認定プログラム
- カリキュラムは、ヴィクトリア大学での約3週間の研修に加え、帰国後、70時間のオンライン学習で構成される
- このカリキュラムをすべて修了すれば、ヴィクトリア大学から国際的通用性を有する Certificate 及び Diploma を授与される
- 受講資格は、TOEFL iBT 71以上 又は IELTS 5.5以上のスコアを有すること

TEFLプログラムの実施状況

実施状況：

【2012年度】OKU	7月20日～8月13日	現職教員6名	院生等7名
【2013年度】OKU	8月 6日～8月23日	現職教員5名	院生等8名
【2014年度】HATO	8月 5日～8月22日	現職教員7名	院生等10名

主要カリキュラム：

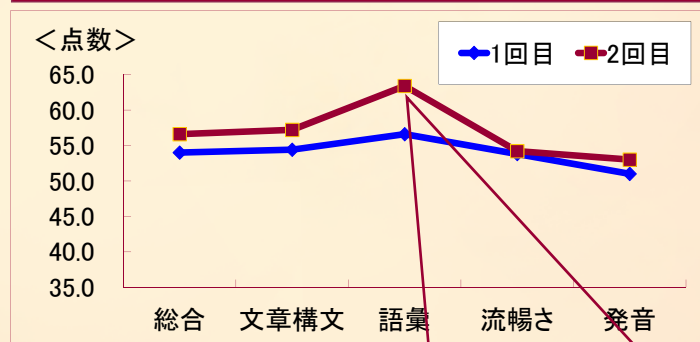
1)英語教授法の理論と応用 2)効果的指導法の理論と実践
3)授業に役立つ教授法のワークショップ 4)模擬授業
5)現地の学校視察 6)帰国後、70時間のオンライン学習

TEFLプログラムの成果

- ・ **現地3週間：** 参加者の高い向上心が相互に大きな刺激，四技能統合の意義を様々な活動を通して体感，指導案を考える新しい視点を確認，体験の重要性を再確認
- ・ **70時間のオンライン学習：** 日々の授業に関連のある課題による新しい発見，ビクトリア講師や他の参加者との英語でのやりとり
→ 前向きなコメント，情報交換として有益，英語を手段とする機会の確保
- ・ **高校教員（イン・サービス），院生（プレ・サービス）としての効果：** お互いが現地で模擬授業等を通して，質疑応答・アドバイスを受けることで，現場の指導の在り方の再確認ができ，帰国後，各附属への院生の関わりができ，現在も継続。
また，現地で連日，夕刻に行われた自主勉強会が，両者にとって学びの場となり，英語教師としてのビリーフの確立にも繋がった。

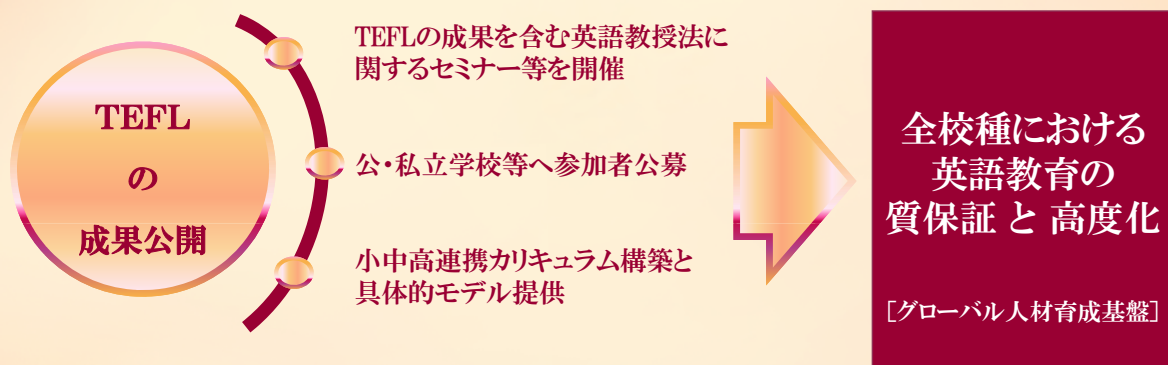
効果測定 ー 英語口頭能力ー

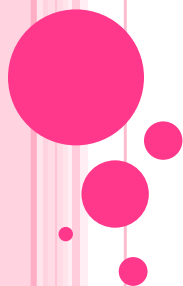
2014 年度研修前後のVersant Test結果



高い語学力を備えた教員，大学院生等が参加
「語彙」において有意な差をもって伸長

TEFLプログラムの今後の展開





「動き」のある授業のために

関西大学第一高等学校・第一中学校講師

永松 里和

satowa.ngmt@gmail.com

目次

- クラス紹介
- ペア、グループ分けの小道具
- Running Dictation
- Flyswatters
- Paper Balls
- まとめ



クラス紹介

- 中学1年生 40人
39人
英語A：50分×週4回
- 高校1年生 42人（内部生）
38人（外部生）
英語表現Ⅰ：50分×週2回
- 高校2年生 38人
コミュニケーション英語Ⅱ：50分×週4回



ペア、グループ分けの小道具

- トランプ
1～10までの40枚のカード
（例）「赤5」「黒7」などでペア
同じ数字「8」「10」などで4人組
- 運命の赤い糸
短すぎるとぐちゃぐちゃになる
- clock buddy
http://www.readingquest.org/pdf/clock_buddies.pdf



RUNNING DICTATION

- 基本形

学習した例文を書いた紙を壁に貼る。

一人が壁まで走り、例文を覚えて席に戻り、パートナーに伝える。パートナーはそれを書きとる。

- 応用編

壁には「答え」となる英文を貼っておく。

一人が疑問文を読みあげ、パートナーはその答えとなる英文を捜して、覚えて席に戻り、伝える。

その答えとなる英文を書きとる。

- 発展編

壁に疑問文だけを貼っておく。

ペアでその答えを考え、用紙に書き込んでいく。

語彙学習のアクティビティ

- Flyswatters

黒板に既習の単語をランダムに書く。

各チームの代表が、読み上げられた単語を「ハエ叩き」で、バシッと叩く。

- Paper Balls

各自、用紙に疑問文を書く。

その紙を丸めてボール状にし、一斉に放り投げる。

どれでもいいのでボールを一つ拾い、ペアでお互いの質問を読み上げ、答える。

最後に

- アクティビティを取り入れることの効果
⇒授業に「動き」が出て、気分転換になる。
- 所要時間の予測と現実
⇒長すぎると逆効果。
- クラスに応じてアレンジ
⇒すべてのクラスで成功する（盛り上がる）とは限らない。



Thank you...



Running Dictation

1 年()組()番_____

パートナーと協力して、次の文の答えを壁から見つけ、英語で答えなさい。

1. What is Kate doing?

2. What is Tom doing?

3. What can Sam do?

4. What can Liz do?

5. How does Jane go to school?

6. Where is Bob calling from?

7. Why does Mei hate winter in Japan?

8. Why do you like spring?

Kate is listening to pop music in her room.

Tom is looking for his bike at the station.

Sam can dance to the music of AKB 48.

Liz can speak two languages: Japanese and English.

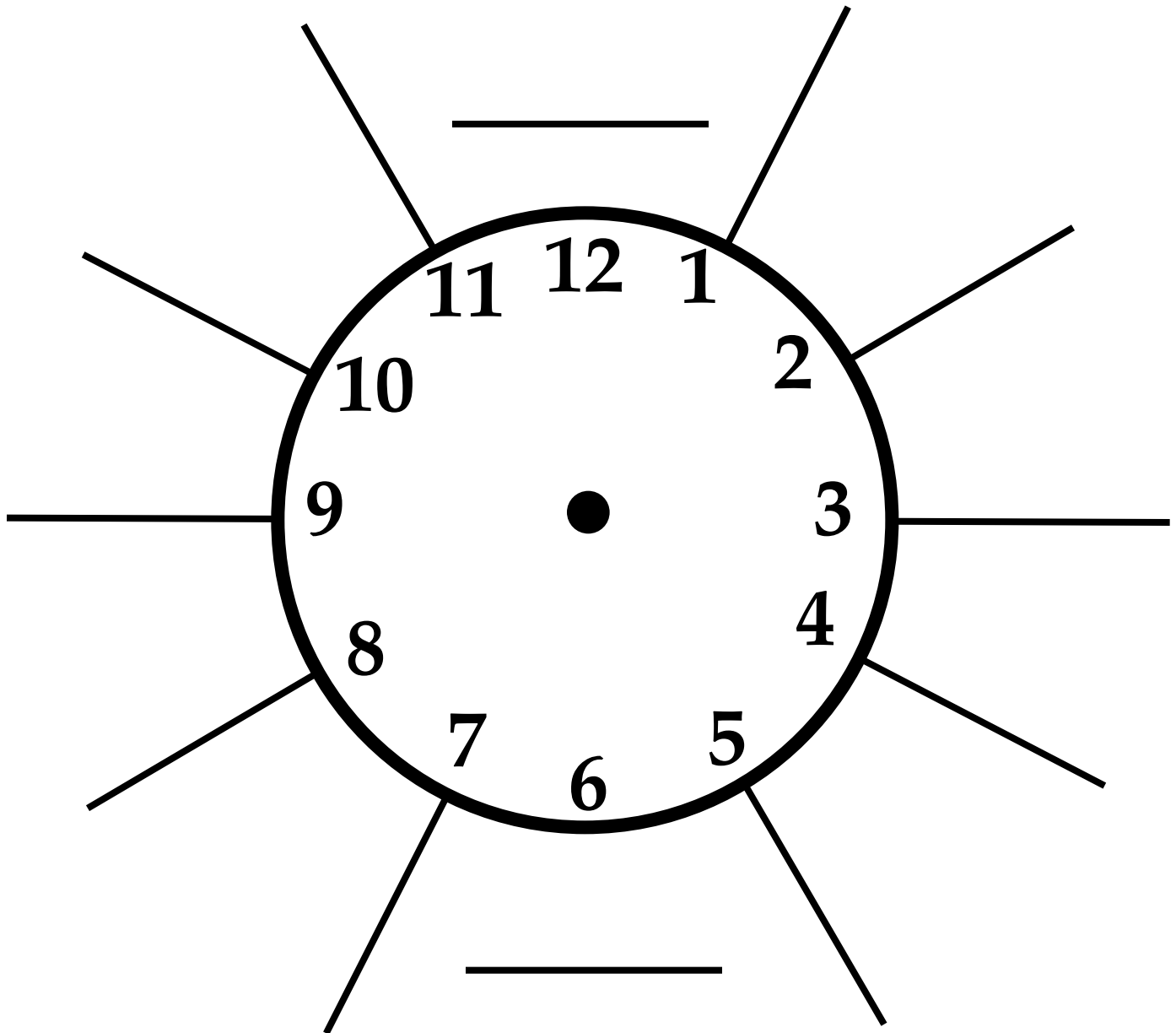
Jane goes to school by bike, but she can walk sometimes.

Bob is calling from his house in New York.

Because she can't swim in the sea.

Because my birthday is in April. I get nice gifts from my parents.

CLOCK BUDDIES



「Preサービス と Inサービスの意義と実践」 日本の中学校における ディクトグロスの実践と工夫

大阪教育大学大学院
山形 悟史

自己紹介

大学院生としての生活をしながら、昨年度から非常勤講師として
関西学院中学部(兵庫)にて、経験を積ませていただいております。

本日は関西学院での取り組みについて簡単にご紹介し、フロアの先生方、学生
の皆さんから、貴重なご意見やご助言を戴ければと思います。

至らぬことが多いかもしれませんが、どうぞ宜しくお願いいたします。

授業実践背景

目的:

→統語・形態統語情報の正確性を伸ばす

現実:

→初等部生と外部生の違い共通点(産出の際の正確性に難点あり)

使用教科書と進度:

→NC(英語1aにて、おおよそ、一時間で見開きページを終わらせるペース)

ディクトグロスを取り入れた理由:

- ・既習語彙や文法をリサイクルしながら、統語、形態統語情報を再認させられる
- ・グループ活動、また全体活動の両方で、気づき、認知比較を起こさせられる
- ・授業の最後に必ず明示的なフィードバックを行うことで、言語知識の強化を測る

普段の授業構成(45分授業)

□多読活動(約15分[本の片付けや、読了記録時間を含む])



□挨拶・忘れ物報告



□ディクトグロスを含む、既習文法材料の振り返り活動(約20分)



□挨拶・簡単な片付け

授業実践背景

関西学院中学部(1年生)の英語科週間カリキュラム(英語科としては6時間)

英語1a×3

(NCを用いたリーディング授業で、基礎文法や語彙を習得しています)

英語1b×1

(山形担当分の授業で、多読活動とディクトグロスを行っています)

英語2a/2b×各1

(ネイティブ教員/日本人教員とネイティブ教員のTTによるスピーキングやリスニング主体の授業を行っています)

ディクトグロスとは・・・

Nassaji (2014) and Nassaji and Fotos (2011)

・タスク活動の中でも比較的新しい分野

・ディクテーション(聞いたものの書きとり)とは少し違う

→聞いたものを一語ずつ書き写すのではなく、まずは
短いパッセージを聞くところから始まる



based on Wajnryb (1990)

ディクトグロスとは・・・

手順

1. 生徒全員に対し、短いパッセージを、ごく普通で速度で2回聞かせる
2. 生徒たちはパッセージを聞きながら、聞き取れた(キーワード)単語やフレーズのメモを取る
3. 小グループに分かれ、メモをシェアしながら、聞き取った英文をなるべく正確に再現する
4. 最後に元の英文(正解)を全体に提示し、生徒自身で産出した英文と比較させ、違いを比べさせる

Friendship

We are always looking for good friends. These days it is hard to find true friends **whom we can trust**. Certainly, it is important to be considerate of those **who care for us**. However, a true friend is someone **who is sincere and loyal**, and is with us through tough times.

ディクトグロスでの3つのステージ

① 準備段階

- ・当該テーマ(friendship)についての大切さ、捉え方の違いなどをディスカッションさせ、スキーマの活性化を行う(一般化)
- ・当該テーマについて、さらに深める(friendshipの様々な側面について)
- ・パッセージに含まれる新出、難解な語彙について簡単に導入を行う

ディクトグロスでの4つのステージ

② ディクテーション(書き写し)段階

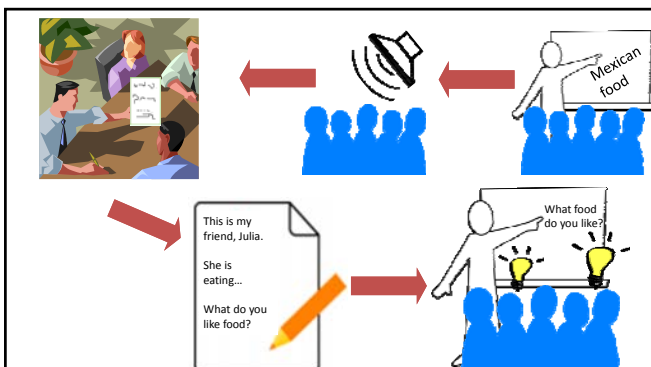
教員はパッセージを普通の速さで読み上げ、その間に学習者は重要だと思う単語や、聞き取れた単語を書き写す

③再構築段階

2人から3人で小グループを組ませ、各自の単語やフレーズを共有させたのちに、もともと流されたパッセージをできるだけ忠実に再現させる(話し合わせる)

④ 比較と分析の段階

スクリーンなどにもとの英文を映し、生徒が産出した英文との違いを比べさせる



(超個人的)ディクトグロスでの注意点

はじめに

・人数構成について (Fernández Dobao, 2014; Ur, 2009; 山西, 2014)

パート1

・語彙と文法のトレードオフ+教科書既習箇所のリサイクル(スキーマの再形成)

パート2

・聞かせ方(しっかりと内容理解をさせる・テキスト再構築への十分な痕跡を残す)

パート3

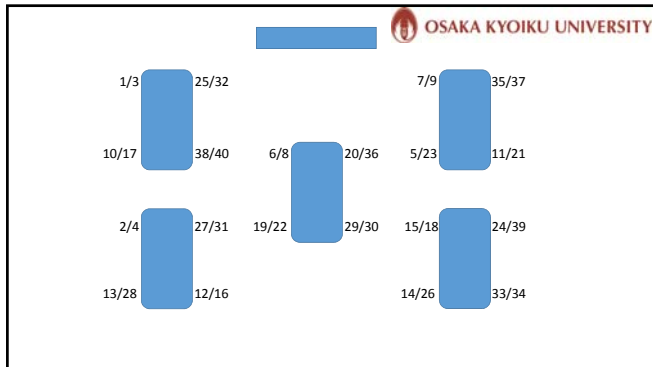
・スクリプトデザイン

■ 山場の設定(文長と語彙数)

■ 音声スピード(言語形式へ向かせざるを得ない状況へ追い込む)

解答

・フィードバックの方法(誤答の提示によって、クラス全員を再度授業へ巻き込む)



OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

(超個人的)ディクトグロスでの注意点

はじめに

- ・人数構成について (Fernández Dobao, 2014; Ur, 2009; 山西, 2014)

パート1

- ・語彙と文法のトレードオフ・教科書既習箇所のリサイクル(スキーマの再形成)

パート2

- ・聞かせ方(しっかりと内容理解をさせる・テキスト再構築への十分な痕跡を残す)

パート3

- ・スクリプトデザイン

- 山場の設定(文長と語彙数)
- 音声スピード(言語形式へ向かせざるを得ない状況へ追い込む)

解答

- ・フィードバックの方法(誤答の提示によって、クラス全員を再度授業へ巻き込む)

(～に)住む	
お祭	
素晴らしい	
楽器	
国	
う～ん...	
伝統的な	
いくつかの	
ロンドン	

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

instrument

楽器

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

fantastic

素晴らしい

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

live (in)

(～に)住む

any

いくつかの

(超個人的)ディクトグロスでの注意点

はじめに

・人数構成について (Fernández Dobao, 2014; Ur, 2009; 山西, 2014)

パート1

・語彙と文法のトレードオフ・教科書既習箇所のリサイクル(スキーマの再形成)

パート2

・聞かせ方(しっかりと内容理解をさせる・テキスト再構築への十分な痕跡を残す)

パート3

・スクリプトデザイン

■山場の設定(文長と語彙数)

■音声スピード(言語形式へ向かせざるを得ない状況へ追い込む)

解答

・フィードバックの方法(誤答の提示によって、クラス全員を再度授業へ巻き込む)

① Let' s listen.

まずは話されている内容に注意して聞いてみよう

- ・全員、体をスライドに向けよう
- ・近所同士でペンを持っていないか確認しよう
- ・2人の会話はピーという音の後に始まります

② Let' s listen.

2回目は日本語で内容のメモを取ってみよう

- ・まずは聞く(2行ずつ)
- ・10秒間でメモを取る
- ※英語では書かないこと!

③ Let' s listen.

3回目は日本語で内容のメモを取ってみよう
※どのタイミングでメモを取ってもかまいません

Let' s work in pairs

今からペアに分かれてもらいます。

- ・筆記用具をまとめる
- ・1~6、7~12までの人間は椅子を持っていく
- ・新しい座席表を参考に移動しましょう

(超個人的)ディクトグロスでの注意点

はじめに

・人数構成について (Fernández Dobao, 2014; Ur, 2009; 山西, 2014)

パート1

・語彙と文法のトレードオフ+教科書既習箇所のリサイクル(スキーマの再形成)

パート2

・聞かせ方(しっかりと内容理解をさせる・テキスト再構築への十分な痕跡を残す)

パート3

・スクリプトデザイン

■山場の設定(文長と語彙数)

■音声スピード(言語形式へ向けざるを得ない状況へ追い込む)

解答

・フィードバックの方法(誤答の提示によって、クラス全員を再度授業へ巻き込む)

Paul: Does your sister live in Scotland?

Ms Brown: No, she does not. She lives in London now.

Paul: When does she play the bagpipes?

Ms Brown: Every summer. She plays them at festivals. Look.

Paul: Fantastic!

Ms Brown: Thanks. Does your country have any traditional instruments?

Paul: Mmm... I do not know.

(超個人的)ディクトグロスでの注意点

はじめに

・人数構成について (Fernández Dobao, 2014; Ur, 2009; 山西, 2014)

パート1

・語彙と文法のトレードオフ+教科書既習箇所のリサイクル(スキーマの再形成)

パート2

・聞かせ方(しっかりと内容理解をさせる・テキスト再構築への十分な痕跡を残す)

パート3

・スクリプトデザイン

■山場の設定(文長と語彙数)

■音声スピード(言語形式へ向けざるを得ない状況へ追い込む)

解答

・フィードバックの方法(誤答の提示によって、クラス全員を再度授業へ巻き込む)

Paul:

Ms Brown:

Paul:

Ms Brown:

Paul:

Ms Brown:

Paul:

ヴィクトリア大学での学び (非常勤講師をしながらの院生として)

- ・一線の研究知見を授業へ活かすことの大切さとリスク
(本当にその理論が、自分が担当する生徒に適するものか、考えがまだまだ甘いです)
- ・生徒個々の学習歴や、それに基づく言語処理方法を見極める難しさ
(なんでこんな文産出をするのか、もしくはしないのか...)
- ・指示の出し方は細かくor簡潔に! ?
(授業中の英語使用は、簡単なものだけにしています)

謝辞

このような機会を与えて下さった、英語教育講座の吉田晴世教授、および
関西学院中学部にて、多忙な中、授業助言をくださった佐々木顕彦、山田雄一郎
の両先生に、この場をお借りして、感謝を申し上げます。

主要参考文献

- Fernández Dobao, A. (2014).** Vocabulary learning in collaborative tasks: A comparison of pair and small group work. *Language Teaching Research*, 18(4), 497–520.
- Nassaji, H. (2014, Aug).** Task-based instruction. Material given at a lecture in the PSC TEFL program in 2014.
- Nassaji, H., & Fotos, S. (2011).** *Teaching grammar in second language classrooms. Integrating form-focused instruction in communicative context.* London: Routledge.
- Ur, P. (2009).** *Grammar Practice Activities* (2nd Ed.). Cambridge: Cambridge University Press.
- 山西博之(2014)**「ライティング指導のWhat, How, and Whyの研究動向」
『関西英語教育学会 KELES 第33回KELESセミナー 配布資料』

Writing Activity 07

Class____No____Name_____

ポールとブラウン先生が、ジーンさんについて話をしています

三省堂 NEW CROWN ENGLISH SERIES 1 pp68 中の挿絵を使用

① 上の絵を説明するときに必要な英単語を、日本語に合うように線で組み合わせよう。

(～に) 住む	・	・	instrument
お祭	・	・	fantastic
素晴らしい	・	・	live (in ～)
楽器	・	・	traditional
国	・	・	country
う～ん...	・	・	any
伝統的な	・	・	mmm...
いくつかの	・	・	festival
ロンドン	・	・	London

裏へ続く

② 2 人の会話を聞いて、各文の内容を日本語でメモしなさい。英語を書いてはいけません。

Paul :

Ms Brown :

Paul :

Ms Brown :

Paul :

Ms Brown :

Paul :

③ 上のメモを参考にしながら、ペアで元の会話を復元しよう。

Paul : _____

Ms Bwown : _____

Paul : _____

Ms Brown : _____

Paul : _____

Ms Brown : _____

Paul : _____

Writing Activity 12

Class ____ No ____ Name _____

写真を見ながら久美がポールにたずねます。

三省堂 NEW CROWN ENGLISH SERIES 1 pp94 中の挿絵を使用

① 上の絵を説明するときに必要な英単語を、日本語に合うように線で組み合わせよう。

そこに行く	・	・	restaurant
タコス	・	・	near ~
~を作る	・	・	taco(s)
メキシコ料理	・	・	Mexican food
レストラン	・	・	go there
~の近くに	・	・	talk with ~
開く	・	・	make ~
~と話す	・	・	open

裏へ続く

② 2人の会話を聞いて、各文の内容を日本語でメモしなさい。

英語を書いてはいけません。

Paul :

Kumi :

Paul :

Kumi :

Paul :

Kumi :

Paul :

Kumi :

Paul :

③ 上のメモを参考にしながら、ペアで元の会話を復元しよう。

Paul : This is my friend, Julia. _____

Kumi : _____

Paul : She is eating a taco.

Kumi : A taco?

Paul : Yes. Tacos are Mexican food. _____

Kumi : Did you like them?

Paul : Yes, I did.

Kumi : Oh, _____

Paul : A new restaurant!? _____

「中学校のためのフォニックス指導」

1. フォニックスについて

フォニックスとは文字とそれがあらわす音の結びつきを教え、そこから単語・文の読みにつなげていくというものである。

(1) 44 音素表

	母音	例		子音	例
1	[i]	hit	1	[p]	<u>p</u> ig
2	[e]	pe <u>t</u>	2	[b]	<u>b</u> ig
3	[æ]	ta <u>p</u>	3	[k]	<u>c</u> at
4	[ɑ]	no <u>t</u>	4	[g]	<u>g</u> et
5	[ʌ]	cu <u>t</u> , so <u>m</u> e, bloo <u>d</u>	5	[t]	<u>t</u> op
6	[ei]	<u>c</u> ake, rai <u>n</u>	6	[d]	<u>d</u> og
7	[ai]	ni <u>c</u> e pi <u>e</u>	7	[f]	<u>f</u> an, <u>ph</u> one
8	[i:]	<u>e</u> ve me <u>a</u> t	8	[v]	<u>v</u> et
9	[óu]	no <u>t</u> e bo <u>a</u> t	9	[θ]	<u>th</u> ink
10	[u:]	<u>c</u> ute, blu <u>e</u> , moo <u>n</u> , do <u>o</u>	10	[ð]	<u>th</u> at
11	[u]	bo <u>o</u> k pu <u>t</u>	11	[s]	<u>s</u> end
12	[ɔ:]	<u>a</u> uto sa <u>w</u>	12	[z]	<u>z</u> ip
13	[ə:]	gi <u>r</u> l nu <u>r</u> se cl <u>e</u> rk	13	[m]	<u>m</u> an
14	[au]	bro <u>w</u> n ho <u>u</u> se	14	[n]	<u>n</u> ice
15	[ɔi]	bo <u>y</u> oi <u>l</u>	15	[ŋ]	ri <u>ng</u>
16	[iə]	he <u>a</u> r he <u>r</u> e de <u>e</u> r	16	[l]	<u>l</u> eg
17	[eə]	<u>a</u> ir ca <u>r</u> e whe <u>r</u> e	17	[r]	<u>r</u> at
18	[uə]	po <u>o</u> r yo <u>u</u> r to <u>u</u> r	18	[w]	<u>w</u> et
19	[a:]	ca <u>r</u>	19	[h]	<u>h</u> at
20	[ə]	<u>a</u> go	20	[j]	<u>y</u> et
			21	[ʃ]	<u>sh</u> op
			22	[ʒ]	lei <u>s</u> ure, rou <u>g</u> e,
			23	[tʃ]	<u>ch</u> op
			24	[dʒ]	<u>j</u> ump, <u>g</u> ym

2. フォニックスルール

(1) フォニックスルール

1	閉音節	cat dog milk spa/ghet/ti Ja/pan ba/nan/a
2	開音節	go hi me he no we Chi/na ti/ger A/pril
3	マジック e 音節	mate nice Chi/nese home cute
4	母音 2 文字規則音節	rain day sea see key pie snow doe boat fruit
5	母音 2 文字不規則音節	August draw look moon oil boy mouth cow new
6	「R」音節	car girl nurse fork chair our tired hear where
7	その他少数パターン	some any mind old head young have you eight

(2) 中学校検定教科書 (H24 中英 6 社 Sunshine、New Crown、New Horizon、Columbus、One World、Total) 単語分類結果 (英検協会)

1	閉音節	927 語 (約 46%)
2	開音節	217 語 (約 11%)
3	マジック e 音節	199 語 (約 10%)
4	2 文字並列母音規則音節	192 語 (約 10%)
5	2 文字並列母音不規則音節	150 語 (約 7%)
6	「R」組み合わせ音節	227 語 (約 11%)
7	その他少数パターン	91 語 (約 5%)
		合計 2033 語

3. フォニックス指導手順

(1) フォニックスの前提条件

アルファベット識別 + 音素認識 → 外国語活動

(2) 中学入門期指導

1	5つの短母音と1文字の子音の音素 (3 文字単語語音読 → 書き取り → 綴り)
2	2 文字子音 & 連続子音の音素 (2 文字 & 連続子音音読 → 書き取り → 綴り)
3	音節 (閉音節、開音節) 確認 → 開音節長母音 (開音節音読 → 書き取り → 綴り) アクセントを持つ音節と持たない音節の理解

(3)新出単語を活用したフォニックス指導

4	マジック e 音節 (マジック e 音節 単語音読 → 書き取り → 綴り)
5	母音 2 文字規則音節 (母音 2 文字規則音節 単語音読 → 書き取り → 綴り)
6	母音 2 文字規則音節 (母音 2 文字不規則音節 単語音読 → 書き取り → 綴り)
7	その他少数パターン (少数パターングルーピング)

(4)入門期指導実践①5つの短母音と1文字の子音の音素 3 文字単語指導例



3 文字単語ワークシート

次の単語を音読しよう！ Class() No () Name ()				
bag	pen	box	pig	cup
map	vet	dog	six	sun
cap	red	mop	pin	cut
cat	ten	top	lid	bus
rat	jet	god	big	gum

②2 文字子音・連続子音指導例



2 文字子音 & 連続子音単語ワークシート

次の単語を音読しよう！ Class() No () Name ()				
shop	fish	graph	stamp	skip
chick	ship	what	class	song
neck	dish	bath	black	fresh
brush	lunch	math	dress	grass
flag	bench	spring	truck	sock

③開音節長母音とアクセントを持つ音節と持たない音節指導例



開音節長母音単語ワークシート

次の単語を音読しよう！ Class() No () Name ()				
hi	he	my	we	go
no	she	by	ti/ger	hel/lo
A/pril	mu/sic	be	Chi/na	cu/cum/ber

閉音節（音読み）	cat	dog
開音節（名前読み）	go	fly

(5)入門期以降教科書新出単語活用フォニックス指導実践

①アクセントのある音節の母音を提示して音素を確認する。

②子音をつけて生徒に読ませる

③意味を確認する

④教科書の本文を生徒に自分で読ませる

⑤本文のデジタル音声を聞いて確認する

⑥30秒音読をする(個人→ペア→グループ)

(6)フォニックスワークシート

Lesson1 アヤの新しいクラス フォニックスワークシート①

下線の部分が同じ文字同士を線でつなぎなさい

1	hello	・he	ア
2	please	・ball	イ
3	call	・no	ウ
4	me	・like	エ
5	nice	・ap/ple	オ
6	meet	・peach	カ
7	ex/cuse	・zoo	キ
8	right	・tree	ク
9	too	・cute	ケ
10	Ja/pan	・night	コ

1	2	3	4	5
()	()	()	()	()
6	7	8	9	10
()	()	()	()	()

One point lesson!

- ①
- ②
- ③

(7)フォニックス分類シート例(第1学年)

Go	voice	ski	here	know	speak	idea	there	write
we	swim	by	teach	street	way	Japanese	card	girl
like	me	cook	all	skate	nice	bus	dance	year
								...

閉音節	開音節	マジック e	規則母音	不規則母音	R 音	その他
sing	go	drive	know	voice	here	ski
pop/u/lar	i/de/a	skate	speak	cook	there	does
dance	by	write	read	all	where	great
swim	ju/nior	these	teach	school	air	many
min/ute	we	like	street	small	card	live
stud/y	me	Jap/a/nese	way	new	girl	high
lunch	hi	nice	fruit	join	hard	head
bus	ti/ger	time	blow	autumn	year	kind
wor/ry	Chi/na	take	week	noisy	our	right

4. 終わりに

フォニックス指導の目的は、初期の英語学習者が「自分の力で単語を読める」喜びを持つことである。そして「単語のつづりが読めない、書けない」ために英語学習意欲をそいでしまわないようにすることである。そのためには、やはり入門期におけるフォニックス指導は大切である。フォニックス指導を行うことで生徒は音素の足し算で未知語を音読する意欲を持つことができる。また、音と綴りの規則性に気づきながらフォニックスの知識を整理整頓することで語彙習得の「安心感」を得ることができる。さらにアクセントのある音節の母音を自信を持って発音することでイントネーションが良くなるという効果が期待される。

フォニックスルールは「掛け算」のようなもので、英語学習者が未知語に遭遇したときに無意識に活用して音読できればいいのである。漢字と同様に基本的に規則通り読めても例外は必ずある。3 文字単語確認テストを行った際に 3 文字とも子音を書く生徒がいた。生徒の間違いに気づき、全体でその間違いを共有しながら訂正していくことで生徒のつまづきを少なくすることができる。教科書を自分の力で読めることは入門期の学習者にとっては大きな自信となる。

参考文献

アレン玉井光江 (2010).『小学校英語の教育法－理論と実践－』東京：大修館.

西原真弓 (2008).「英語科教員養成に必要な音声指導について」『活水論文集』.

活水女子大学健康生活学部編 第51号、15-30.

ハイルマン A・W、松香洋子監訳 (1996).『フォニックス指導の実際』東京：

玉川大学出版部.

Jacques Mehler 「誰もがプラソディを話す」

Retrieved Jan. 31, 2013 from

<http://jhfsp.jsf.or.jp/frontier-science/humanfrontier/1999/prosody.html>

National Institute of Child, Health & Development.

Report of the National Reading Panel: Teaching Children to Read.

Retrieved Oct. 31, 2011 from <http://www.>

[nichd.nih.gov/publications/nrp/intro.cfm](http://www.nichd.nih.gov/publications/nrp/intro.cfm)

Rudolf Flesch (1955) Why Jonny can't read and what you can do about it.

New York: Haper & Row, Publishers, Inc.

Takako Yamato(2009) Importance of Phonics and its prerequisites: What is necessary for Japanese students? Kagoshima studies in English literature, Vol.18 p.1-11